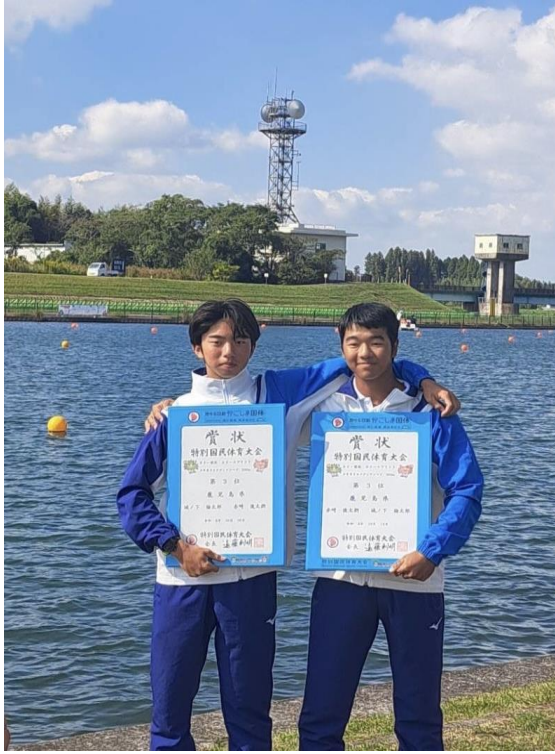




国体三位

おめでとう



左：城ノ下倫太郎選手 右：赤崎俊太郎選手

スポーツの秋。今年は令和2年に開催される予定だった国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」がコロナ過を乗り越えて10月に開催されました。

10月13日から16日に鹿児島県伊佐市菱刈カヌー競技場で特別国民体育大会カヌー競技が開催されました。

この大会に出場した機械科2年1組の赤崎俊太郎さんにインタビューをしました。

国体の本戦に出たのは初めてで、国分高校の一年生とのペアで3位まで漕ぎつけられたのは自分でもびっくりしています。1位と2位に入賞したペアとの差が歴然としていて、今回の大会で今の自分たちの実力を見ることができ、とても勉強になる試合でした。

今回の大会に向けて、パドルの伸びを意識し、どんな状況やコンディションでも自分のレースができるように気持ちを作るトレーニングをしてきたそうです。本校のカヌー部員は2名で、もっと多くの人にカヌーに興味を持ってもらいたいという赤崎選手。今後のさらなる活躍を期待しています。



写真奥の左側（先頭）が赤崎選手，右側が城ノ下選手

カヌーの魅力

初心者の人でも落ちにくい船で練習ができて、簡単に上達ができます。個人競技と団体競技があり自分のペースで練習ができることが魅力です。